

## 地域住民との連携による農空間保全

きたなか

### 北中地区農空間保全協議会（泉佐野市）

- 北中地区は、市街化区域内に多くの農地を有しており、宅地と共に存しながら営農を行ってきた。しかし、近年は後継者の減少や、宅地開発等により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- 平成27年度に北中地区農空間保全協議会を設立し、土地改良区、近隣小学校が連携し、地域資源の保全を図っている。

#### 活動開始前の状況や課題

- 市街化区域内に多くの農地を有し、宅地と共に存しながら営農を行ってきたが、後継者不足による担い手の減少により、地域資源の保全に係る負担が増大し、持続的な農地・農業用施設の管理が課題となっている。
- 農業用施設の老朽化が進み、施設の補修・長寿命化が課題。



#### 取組内容

- ため池や水路の草刈り、水路浚渫など交付金を活用して実施し、農地や施設の維持管理を行っている。
- 農道補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- 学校教育と連携し、地域の小学校や大阪市内の小学校の子どもたちを対象に農作業や収穫体験に取り組み、かつ都市との交流も進めている。



#### 資源向上取組地区

##### 【地区概要】

取組面積	30.00ha	[田30.00ha 畑0.00ha]
農業用施設	開水路15.0km 農道 1.5km	パイプライン0.2km ため池 20箇所
主な構成員	土地改良区、小学校	
交付金	900千円（農地維持） 1,099千円（資源向上）	

#### 取組の効果

- 土地改良区が中心となって施設の点検や補修を行い、計画的に農業用施設の保全管理が実施出来ている。
- 小学校と連携し、子どもたちに作物を植え、育て、収穫するという一連の作業を体験、身近にある農空間の大切さを認識させることによって、地域住民の理解促進、また地域住民が交流する機会の創出に寄与している。

